

J R東日本労働組合

秋田ジャーナル

J R東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ~ 笹渕 太郎

編集者 ~ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら!

2021春闘要求

1. 定期昇給を実施すること。昇給係数は4係数とすること。
2. 基本給ならびに初任給を、社員一律**3000円**引き上げること。
3. エルダー社員の基本給を、一律**3000円**引き上げること。
4. 第二基本給を廃止すること。
5. 2021年度の賃金改定においては、賃金規定第23条の特別加給を行わないこと。

春闘はすでにはじまっている!?

取り組みの3本柱で私たち社員が未来を創ろう!

要チェック!!



①賃金引き上げを求める取り組み

②赤字下における企業活動などの点検行動

③コロナ禍における労働環境の点検行動と改善する取り組み

心豊かな生活のために団結してガンバロー!!



①賃金引き上げを求める取り組み

賃金引き上げは、私たち労働者の質の向上を形として勝ち取る闘いです。業務の中で積み重ねた経験や知識は確実に1年前の私たちよりも成長し、携わることのできる業務も増えているのです。だからこそ、その成長を賃金として適正に分配してもらうために訴えなければならないのです。

★「社会的使命」を果たしていることを訴えよう！

新型コロナウイルスが拡大し、2度の緊急事態宣言がありながらも私たちはお客さまへ安全・安定輸送をお届けする社会的使命を変えずに完遂してきている。コロナ禍においても、日本のインフラを支えている事実が変わりはなく、感染拡大に細心の注意を払いながらの業務はむしろ評価をされるべき点です。

★「会社の持続的成長」に向けた努力を訴えよう！

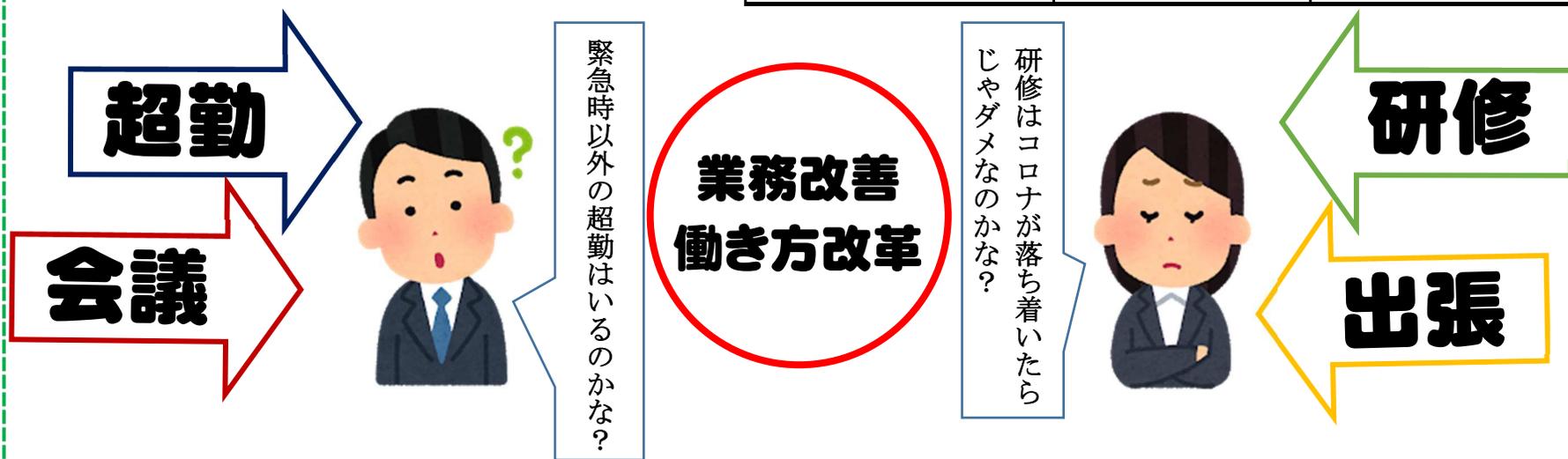
新型コロナウイルスの影響により、数年後に想定していた生活が実現してしまっただとして、様々な会社施策が足早に進められている。そんな中、日々の業務の遂行に加え、会社の持続的成長を果たすために赤字業績の改善に向けて社員一人ひとりが業務内容の見直しなど様々な形で奮闘している。

また、政府からも「成長と分配に好循環を実現するためには、雇用の確保と共に、最低賃金を含めた賃上げの流れを継続していくことが大切」と話がされている。

②赤字下における企業活動などの点検行動

2020年度と2019年度の夏季・年末手当の合計を比較しても約24%の人件費削減がされている。突出した人件費削減を中心とした赤字コントロールを良しとせず、私たちが疑問に思った業務をまずは相談、改善していきましょう！

2020年度・夏	2020年度・年末	2020年度・合計
2.4ヶ月+5000円 月数換算：2.415ヶ月	2.2ヶ月	4.615ヶ月
2019年度・夏	2019年度・年末	2019年度・合計
2.91ヶ月	3.18ヶ月	6.09ヶ月



③コロナ禍における労働環境の点検行動と改善する取り組み

昨年11月以降、政府は2回目となる緊急事態宣言を11都道府県に再発令している。日本でもワクチン接種が開始されているが、感染力がさらに強い「変異種」の感染拡大が危惧されている。未だに終息が見えない新型コロナウイルスに対して、会社だけでなく私たち社員が主となって感染予防を訴えなければなりません。完全な予防は難しいですが、万全を期することはできるはず。いま一度私たちの職場を見直し、共用物はないのか、除菌がされているのかといった観点を持って業務へ向き合いきましょう！

体調不良時は？

マスク着用は？

換気体制は？

共用の道具は？

アルコール消毒は？

共用スペースは？

対面時の体制は？

現場から改善を声に出そう！